

# こども通信 せなひめ物語①

作成：静岡古文書研究会

瀬名には、戦国時代 今川の瀬名氏が住んでいました。三代目氏俊の弟 氏広は、養子（他人の子どもを自分の子どもにすること）となつて、関口刑部親永と名のり、井伊谷御前を妻としました。

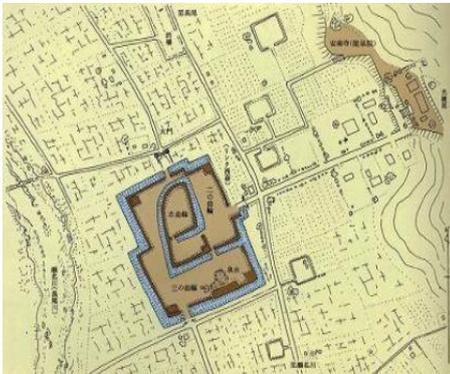
天文11年（1542年：今から480年前）瀬名館（現在のリンク西奈のところに大屋敷、大門の名

が残っている）で女の子が生まれました。生まれた地にちなんで「瀬名」とよばれました。駿府の

今川館には、岡崎城主 松平広忠の長男「竹千代」（のちの家康）が人質（敵方などに対して、絶対

に「裏切り」をさせないために、その「証拠」としてさし出される人）として預けられていました。

瀬名館



竹千代と瀬名



15歳で元服



1571年竹千代は、15歳で元服（男子が成人にたったことを示す儀式）して、松平元信と名のり、

瀬名と結婚しました。1579年に長男、信康が生まれ、よく年、長女 亀姫が生まれました。1589

年に桶狭間の戦いで、今川義元が織田信長に敗れ、亡くなると、生活は、変ってしました。元信は

岡崎城にかえり元康と名前をかえ、1571年に瀬名、信康、亀姫は岡崎に入りました。

桶狭間の戦い



家康



瀬名姫（築山御前）



1572年に元康は名を、徳川家康とあらめ、今川の敵である織田信長と同盟（おなじ行動をとること

をやくそくすること）を結びました。息子の信康と信長の長女、五徳姫との、結婚の話が occurred

しました。瀬名は岡崎城に行き築山という、屋敷に住み「築山御前」と呼ばれるようになりました。

いえやす せな しろ きたがわ あた いえ こどもたち す のぶやす のぶなが むすめ ごとくひめ  
家康は瀬名のために城の北側に新しい家をたて子供達と住ませました。信康は信長の娘の、五徳姫と、  
けっこん けっこん ほんたい ごとくひめ ごとくひめ ちちのぶなが てがみ のぶやす しゅうと  
結婚することになり、この結婚に反対し、五徳姫につらくあたりました。五徳姫が父信長に、手紙で信康と 姑

わるぐち たけだ みつう ほうこく のぶなが いえやす のぶやす ごぜん しょぼつ  
への悪口と武田との密通（ひそかにつうじあうこと）を報告。信長がおこって家康に信康と御前を処罰するよ

めい てんしょう ねん がつ ひころ めいれい う かしん はままつ さなる こ ごぜん さつがい  
うに命じました。天正 7年8月29日殺す命令を受けた家臣は、浜松の佐鳴湖にて御前を殺害

さい との めい いのち ちょうだい い さつがい ほうこく う いえやす からだ  
(38歳)「殿の命いにより、お命、頂戴」と言って殺害しました。報告を受けた家康は体だけ

おお あたま おんな あま に  
大きくて頭のまわらないやつよのう。女だから、尼にして、逃がしてやればよいものを、それを

さつがいしゃ じぶん はじ いんきよ のぶやす めい ほんとうはんぞう  
した、殺害者は自分のいたるなさを恥、隠居しました。いっぽう、信康のほうには2名、服部半蔵

せつぷく つげ のぶやす み おぼ ちち あ  
は「切腹してください」と告げます。信康は、身に覚えがないため「なぜだ、父に、合わせてくれ」

い ほんぞう くび き めい ねんぶつ はら き ほんぞう  
「それはだめです」と言い、半蔵に首を切るように命じ念仏をとえ、腹を切りました。半蔵は「あ

くび き でき ひと き  
われで、首を切ることが出来ません」もう一人りが、かわって切りました

きょうねん さい  
享年 21歳



いえやす たけだ どうめい み ぶんしょう ごぜん くび も あづちじょう い たけだ みつう  
家康は、武田との、同盟から見つかった、文章と御前の首を持って安土城へ行き、「武田との密通

は、なかった」として長男、信康を助けようとするが、こんな、作り事まで、用意し、そこま

もう とくがわ すき よ す よ い こと のぶやす  
で申すのなら、「徳川どのの、お好きなよになさるが良い」「好きになさるが良い」と言う事は「信康

ころ よ こと いえやす よろこ わたし す  
を殺さなくて良い」という事もありだと、家康は喜ぶが、そのかわり、私も好きにするよ！と付

くわ ことば ころ とくがわけ のこ き  
け加えられた。この言葉で、殺すしかなかった。徳川家を残すために、決めたのでした。

せな ひめ はな なに ほんとう のぶやす ごとくひめ  
瀬名姫の話は、何が本当かは、わかりません信康と五徳姫が、なかが良ければ、こんなことに

ならなかったかもしれません。せんごくじだい ぎせいしゃ こと まちがい  
戦国時代の犠牲者である事には、間違いありません。

ご せな ひめ のぶやす ころ にん きかい うんめい  
その後、瀬名姫、信康を殺した五人は、奇怪な運命をたどることになります。

次回の、こども通信②をお待ちください。！！

こども通信  
作成：編集

編集：Copyright by Shizuoka komonjyo Study Circle  
静岡古文書研究会 伊久美勝久

TEL 090-6583-2945